

# 四日市市子どもと親子の活動・交流拠点 整備計画

## 基本構想 骨子（案）

### 目次

#### 第1篇 基本構想

##### 1.現状と課題の整理

- (1)子どもや家庭を取り巻く状況と課題
- (2)子ども・親子の拠点施設に関する先行事例の分析

##### 《第2回検討委員会で主に検討いただく内容》

##### 2.拠点整備の基本的考え方

- (1)市民ニーズを踏まえた拠点施設の役割
- (2)施設整備の基本方針
- (3)導入機能と必要諸室

#### 第2篇 基本計画

##### 1.施設計画・敷地利用計画

- (1)敷地条件
- (2)整備 施設・諸室・設備
- (3)施設配置、動線計画
- (4)外構及び景観形成方針
- (5)基本計画図

##### 2.実現方策の検討

- (1)事業手法・管理運営について
- (2)概算事業費の算定
- (3)市民意見の集約・反映手法の検討
- (4)整備スケジュール案

## 拠点整備の基本的考え方

### (1)市民ニーズを踏まえた拠点施設の役割

#### ①市民ニーズの把握

##### (ア)子育て拠点施設に関するアンケート（別紙資料参照）

こども子育て交流プラザ、橋北子育て支援センター、塩浜子育て支援センターの利用者 60 人に対しアンケートを実施。（平日）

##### ■現在の利用で多かった意見

- ・親子向けイベントへの参加
- ・多目的ホール・ホールで遊ぶ
- ・外のひろば・園庭で遊ぶ
- ・乳幼児スペース・保育室で遊ぶ
- ・子育てに関する相談

##### ■新しい施設への多かった要望

- ・運動ができる部屋
- ・乳幼児専用スペース
- ・親子トイレ

##### (イ)子どもと親子の活動・交流拠点整備計画策定に向けたワークショップ（別紙資料参照）

子育て団体関係者、保育学生、こども子育て交流プラザスタッフ、児童館スタッフ、市保育士、子育て支援関係者等 11 人で実施。

##### ■新しい施設への基本的な考え方

- ・施設と外構（公園）との関係性を活かす
- ・安全・安心・快適性
- ・気軽に利用できる。多世代、多文化交流
- ・交通アクセスの利便性

##### ■対象者、立場別のニーズ

- ・子ども：自然や運動、遊びを介して、“発見”や“冒険”を楽しんで発達・成長できる。  
さまざまな世代の子どもがその子らしく過ごすことができる居場所がある。
- ・保護者：雨に濡れないアプローチ。親の利便性、子どもの特性に応じた利用しやすい設備。
- ・公共性：一時預かりなどの子育て支援や多言語表示などで外国籍の方でも利用しやすい施設。

##### (ウ)今後のヒアリング予定等について

- ・児童館及びこども子育て交流プラザを利用する小・中学生に対し、ヒアリングを実施。
- ・土日にこども子育て交流プラザを利用する乳幼児の保護者に対し、ヒアリングを実施。
- ・8月中に実施予定

## ②拠点施設に求められる役割

以上の市民ニーズから拠点施設に求められる役割を整理すると大きく以下のように整理することができる。

### (ア) (子育てに関わる人が) 気軽に利用でき交流できる場

- ・ 子育て世代、多世代、多文化交流
- ・ 利用勝手やアクセスの良さ

### (イ) 子どもの年齢や個性に合わせた遊び場や居場所

- ・ 障害の有無だけでなく、性別、年齢、人種などの違いに関わらず、すべての子どもが同じ場所で活動できる空間
- ・ 遊びを通して“発見”や“冒険”を楽しみ、発達・成長できる創造の場

### (ウ) 子育て支援、相談が受けられる場

- ・ 子育て相談、情報提供
- ・ 一時預かり

### (エ) 安全・安心・快適に過ごせる場

- ・ 安心して子どもを遊ばせる場
- ・ 衛生的で快適な空間と設備
- ・ 多言語、イラストやピクトグラム等のサイン
- ・ 子育てファミリー（妊産婦、乳幼児等）の特性に即した避難所

## (2)施設整備の基本方針

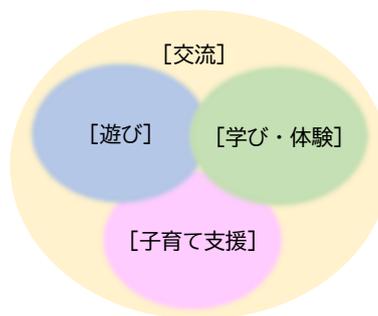
- 子育て世代が気軽に安心して過ごせる場所を提供する。
- 子どもの年齢や個性に合わせた遊び場や居場所を提供する。
- “発見”や“冒険”を楽しみ、発達・成長できる学びや体験の場所を提供する。
- 子育て支援や相談が受けられる場所を提供する。
- 地球環境にやさしい施設整備。

※多世代、多文化等の交流機能はエリア内の別施設（多文化交流施設）で検討

## (3)導入機能と必要諸室

### ①導入機能

- ・ 遊び機能
- ・ 学び・体験機能
- ・ 子育て支援機能
- ・ 交流機能



[機能概念図]

## ②必要諸室

### [遊び機能]

#### ・多目的ホール

子どもたちの自由な遊び、運動、ダンス、親子ヨガ、ベビーマッサージができる。ドッジボールコート程度の広さを確保する。

必要に応じて2つに仕切れるようにする。



#### ・子育て支援ルーム

0～6歳児が大きな子どもたちと接触することなく、安全に自由に遊べるスペース。隠れ家的なスペースや落書きのできる壁など、子どもたちの創造力を掻き立てる場。



### [学び・体験機能]

#### ・工作室

絵画や木工の他、さまざまな創作体験や学習ができるスペース。



#### ・図書室

いつでも自由に本を読める場所。子どもたちへの読み聞かせができるスペースを設ける。



- ・カルチャールーム

子育てに関する市民活動を支援するワークショップスペースを中心に、キッチンコーナーを設け、離乳食教室や栄養士相談等さまざまな活動に利用できるスペース。

こども食堂への対応も検討。



- ・その他（カプラルーム）

本市の他の子育て施設にはない特色ある部屋。



【カプラルーム イメージ】

[子育て支援機能]

- ・一時預かりルーム

子育て世代の親が施設を利用するときの一時預かりや保育所待機児童がいる共働き世帯などに、必要な一時保育を提供するスペース。



- ・相談室

子育てに関する相談のための、プライバシーが確保されたスペース。



- ・クールダウンルーム

子どもが1人になって静かに落ち着くことができるスペース。



[交流機能]

- ・ラウンジ・食堂

いつでも利用できる休憩スペース。飲食もでき、子育て世代の交流の場としても利用できる。

